

4-12 伊東市赤沢1・6号温泉井の自噴量・導伝率・水温変動 (～1993年5月)

Fluctuations of Discharge Rate, Electric Conductivity and Water
Temperature of the Akazawa Hot Spring Wells No.1 and No.6 in Ito City, Izu
Peninsula (—May 1993)

地質調査所
Geological Survey of Japan

前報告¹⁾に引き続いて、伊東市殖産土地浮山温泉赤沢1・6号温泉井における1993年5月までの観測結果を報告する。

両観測井における最近1年間の観測記録を第1図に示した。この1年間においては、温泉の利用が盛んな時期(夏休み、冬休み、黄金週間)に、1号と6号の自噴量が減少し、1号の導伝率が増加した以外には、概ね変動が少なかった。水温の長期変動パターンは吉川・永井(1990)²⁾のモデルに良くあった変動を示した。

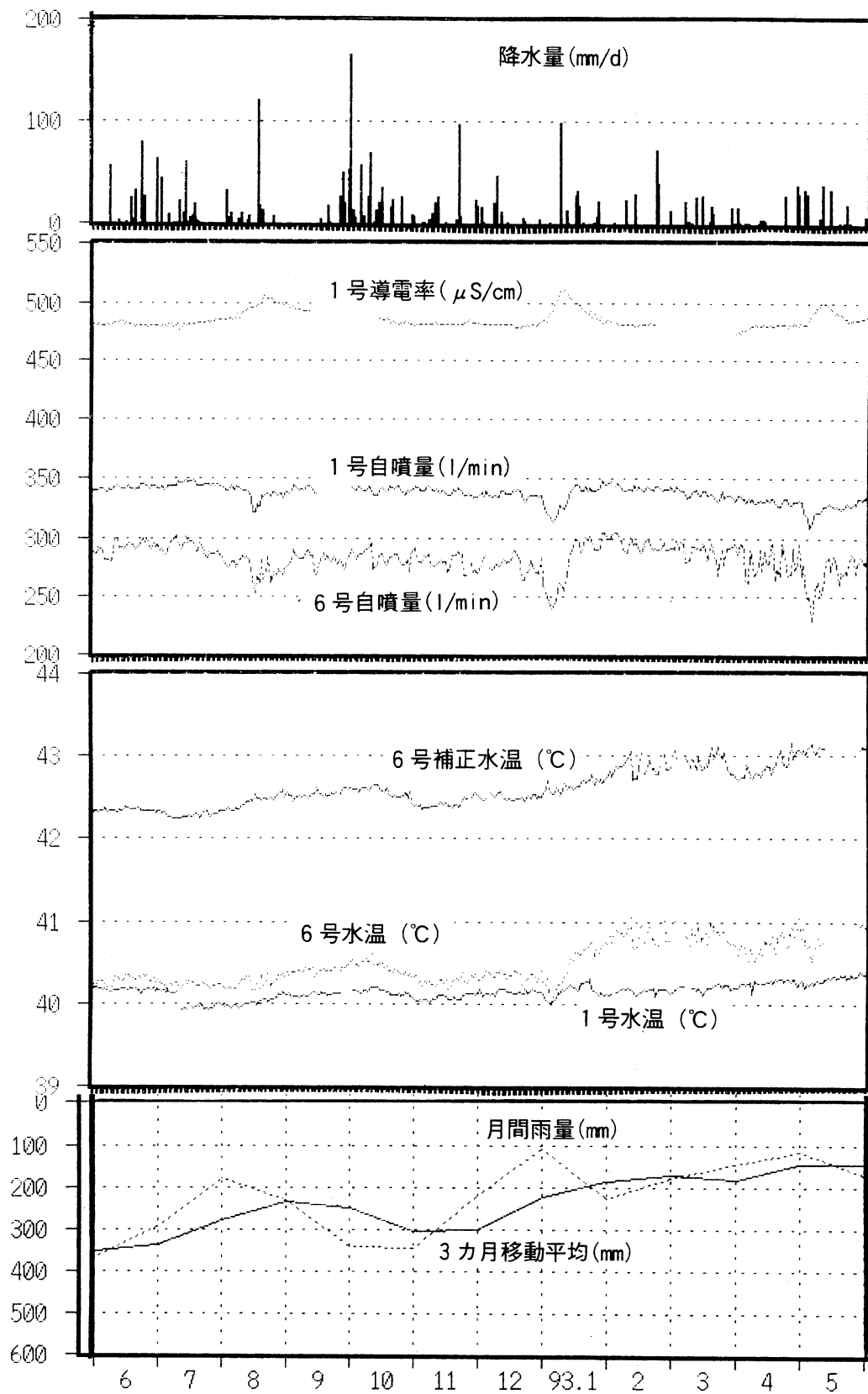
1993年5月後半から始まった伊東周辺の群発地震に関連して、1号と6号の自噴量と1号の水温(6号の水温は機器不調)が増加しつつある。

赤沢1号において1979年より実施している水質定期観測結果のうち、塩化物イオン濃度変動を第2図に示した。

(吉川 清志・永井 茂)

参 考 文 献

- 1) 地質調査所：伊東市赤沢1・6号の自噴量・導伝率・水温変動(～1992年4月)，連絡会報，48(1992)，277-284.
- 2) 吉川清志・永井 茂：伊東市赤沢6号温泉井の自噴量・水温変動とその原因，地震，第2輯，43(1990)，243-256

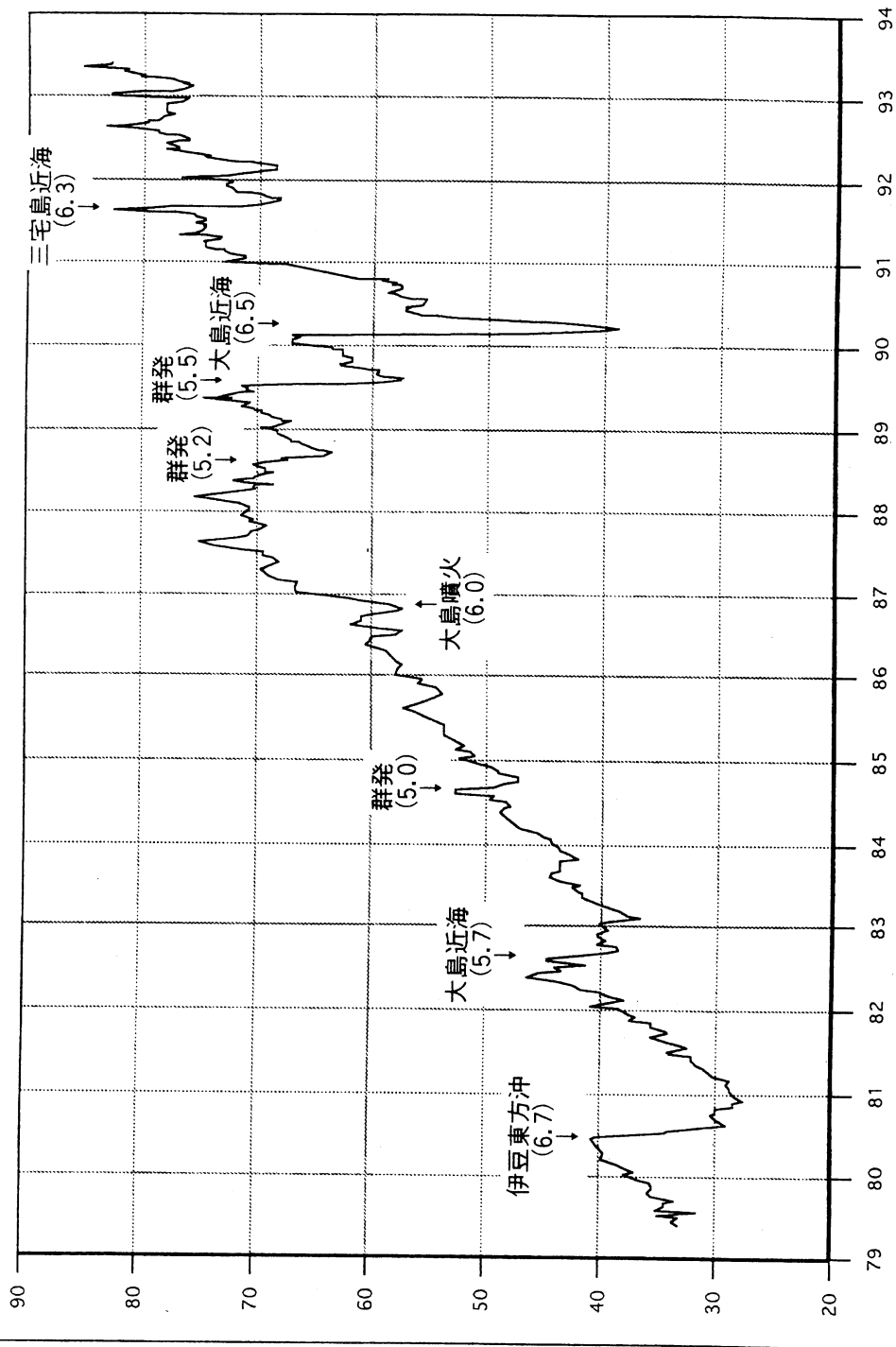


第1図 赤沢1・6号井の自噴量・導伝率・水温変動と降水量（1992年6月～1993年5月）

Fig.1 Fluctuations of discharge rate, electric conductivity, water temperature and precipitation of the Akazawa wells No.1 and No.6.

赤沢1号温泉の塩化物イオン経時変動

1979.4.27-1993.5.27



第2図 赤沢1号温泉井の塩化物イオン濃度経時変化

Fig.2 Fluctuation of chloride-ion concentration in water of the Akazawa well No.1.